

平成24年度 事務事業評価シート（評価対象：平成23年度）

兼 第6次行政改革大綱案実施計画改革項目 検討調書

No.

45

【1. 事業の概要】

基本施策名	521	未来に向けた農業の再生・振興			担当部局	農林部
施策名	521-02	消費者や市場と結びついた産地づくり			担当課	農業政策課
事業番号	6107	事業開始年度	昭和	63	年度	作成者（連絡先）
事業名	畜産振興補助金					
事業内容	どうしてこの事業が必要なのか（原因、ニーズ） 飼料価格が高騰し、畜産農家の経営を圧迫しているため 畜産農家が高齢化しているため、労力軽減が必要である。 放牧の推進により、畜産の経営体質強化が必要である。					
	誰、何が対象なのか（対象） 市内畜産農家					
	どのような手段を用いるのか（方法） 公共牧場に放牧された家畜の放牧料の一部を補助する。 めん羊のと畜料等の一部を補助する。					
	どのような成果を実現したいのか（成果、効果） 飼料コストの削減と畜産農家の労力を軽減することにより、畜産経営の安定的継続を図る					
根拠法令等	なし					

【2. 事業のコスト】

年度		21年度決算	22年度決算	23年度決算	24年度予算	特記事項
優先施策の該当						
年間経費の推移	①事業費（千円）	1,193	2,997	2,962	3,815	
	補助金	1,193	2,997	2,925	3,755	
	旅費			33	51	
	その他			4	9	
	②人件費概算（千円）	366	366	366	366	
	正規職員（人）	0.1	0.1	0.1	0.1	
	嘱託職員（人）					
	臨時職員（人）					
	③事業費計 ①+②（千円）	1,559	3,363	3,328	4,181	
	④特定財源（千円）	0	0	0	0	
	国・県支出金					
	市債					
その他						
⑤市負担額 ③-④（千円）	1,559	3,363	3,328	4,181		

【3. 事業の成果】 評価ランク A:目標を上回る B:概ね目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

項目	単位	21年度実績		22年度実績		23年度実績		24年度見込	
公共牧場への放牧頭数 （牛）	頭	目標	88	目標	80	目標	81	目標	97
		実績	81	実績	97	実績	95		
		目標		目標		目標		目標	
		実績		実績		実績		実績	
達成状況の評価	達成状況、評価理由の説明								
A	口蹄疫、放射能等いろいろな要因がある中でおおむね目標を達成している。								
目標を上回る									

基本施策名	521	未来に向けた農業の再生・振興	No.	45
施策名	521-02	消費者や市場と結びついた産地づくり	担当部局	農林部
事業名	畜産振興補助金		担当課	農業政策課

【4. 事業の検証】

視 点		評 価	理 由
事業の必要性	市民ニーズや社会経済状況の変化などにより必要性は変化しているか	A 増加している B あまり変化していない C 低下している	B 飼料費用の高騰など畜産を取り巻く情勢はきびしいため補助が必要である
役割の妥当性	市の関与について、見直す余地はあるか	A ない B 現在はない C ある	A 畜産農家への援助は市のほかにないため
事業の有効性	目標とする成果の達成に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 引き続き畜産農家への援助が必要であるが、めん羊に対する補助金について一部見直す必要がある。
方法の効率性	更なる効率化に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B めん羊に対する補助金について一部見直す必要がある。

【5. 今後の課題・方針】

課題	<p>飼料価格の高騰、高齢化による担い手の不足、めん羊は繁殖率が1.3頭と低いうえ、他の家畜と比べ飼育が難しいため経営効率が悪いなど畜産農家を取り巻く環境が非常に厳しいため、畜産振興に係る補助施策を実施してきた。</p> <p>特に、信州新町肉めん羊組合に交付しているサフォーク肉価格安定対策事業補助金は、合併協議のなかで3年を目途に見直すこととなっている。</p> <p>しかしながら、現状で当該補助金を廃止すると飼養農家の廃業などにより、昭和初期から続いてきた「新町のジンギスカン」が途絶えてしまうことが、危惧される。</p>	
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容
	継続	<p>・めん羊は草地が荒廃してしまうほど、非常に食性が強い動物である。この特徴を活かして、25年度からめん羊を緩衝帯エリアや耕作放棄地に放牧し、野生鳥獣の出没や荒廃地化を抑制するため、信州新町肉めん羊組合から希望する農家等にめん羊をリースするモデル事業実施し、飼料コストの削減と畜産農家の労力の軽減を図り、畜産経営の安定的継続につなげる。</p> <p>・信州新町のサフォークは高級肉としての評価を得ているが、産地としての認知度が低い状況である。このため、サフォーク放牧を出来る限り観光客等の「見える場所」で実施することによる情報発信（PR）を行い、誘客及び販路の拡大に結び付ける。</p>

【6. 改革の成果】

改革の目指す成果	目標（完了）
<p>・めん羊をリースするモデル事業を3ヵ年実施し、課題・問題点を洗い出し本格実施について検討する。</p> <p>【事業の効果】</p> <p>飼料購入経費の削減や新規の飼育農家の確保。 めん羊生産組合の収入増加。 農地等の草刈など農家の労働力の省力化。 耕作放棄地の解消及び野生鳥獣被害の防止。</p> <p>・放牧を可能な限り「見える場所」で実施することによる、誘客及び販路の拡大。</p>	<p>市からの補助金に依存せずに経営が成り立つめん羊の生産体制</p>